

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		公衆浴場の確保対策		款	3	項	1	目	1	事業	3	整理番号	57
担当部課名		区民生活部管理課		係名	庶務係		連絡先電話番号		3754		昨年度整理番号	53	
上位施策No・施策名		41 安全で明るい地域社会づくり		予算事業区分								既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	56	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等		(1) 杉並区公衆浴場確保対策事業補助金交付要綱 (2) 杉並区健康増進型公衆浴場改修・改築支援補助要綱				
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標名(式)		(1) 区内公衆浴場数(年度末現在) (2)							
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
○杉並浴場組合が実施するイベント等経費の一部を補助する。 ○基幹設備の整備に要する経費の一部を補助する。 ○クリーンエネルギー化及び健康増進型への改修・改築工事に要する経費の一部を補助する。 ○区庁舎でのロビーイベントや広報への記事掲載等公衆浴場の利用促進活動を実施する。		成果指標名(1)		1浴場1日当たりの平均入浴人数		算定式・指標の説明等							
成果指標名(2)		公衆浴場存続率前年度比		算定式・指標の説明等									
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画					
指標	活動指標(1)	①	軒	35	35	31	31	30	30	96.8			
	活動指標(2)	②											
	成果指標(1)	③	人	146	150	138	150	140	150	93.3			
	成果指標(2)	④	%	97	100	89	100	97	100	97.0			
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	15,669	24,546	13,643	14,096	11,127	23,676	22年度予算執行率%	78.9		
	(内) 投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項			
	(内) 委託費	⑦	千円	2	2	2	2	2	32				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.33 0.00	0.35 0.00	0.35 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00			
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	2,987	3,108	3,108	2,676	2,676	2,676			
		(内) 非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0			
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	18,656	27,654	16,751	16,772	13,803	26,352				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	533,029	790,114	540,355	541,032	460,100	878,400				
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0			
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0			
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0	0			
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0	0			
		特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯	⑰	千円	0	0	0	0	0	0			
差引: 一般財源⑪-⑰		⑱	千円	18,656	27,654	16,751	16,772	13,803	26,352				
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 57

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				確保事業	31
		設備整備補助	12	軒	5,456
		クリーンエネルギー化施設整備補助	1	軒	958
		銭湯の日(10月10日)ロビーイベント	800	人	0
		その他(通信費ほか)			63
	(2) 事業実績	公衆浴場確保対策事業に要する経費の一部(31浴場分、平成22年4月1日現在)、使用燃料を都市ガス等のクリーンエネルギーへ転換するための経費の一部(1浴場)、公衆浴場設備を整備するための経費の一部(12浴場分)の補助を行いました。公衆浴場利用促進、普及啓発事業については、10月10日「銭湯の日」に合わせて10月6日・7日区役所1階ロビーで各浴場の紹介や番台等の展示等を行い、2日間で800名の来場者がありました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	浴場軒数は昭和56年度の108軒から平成22年度末現在で30軒にまで減少しています。利用者数は、自家風呂保有率が昭和63年度の76.8%から平成20年度には97.1%に上昇し、1日あたりの平均入浴人数が昭和63年度の291人から平成22年度は140人に減少しました。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	公衆浴場経営者から、耐震化促進支援事業補助制度や燃料経費の補助制度の創設などの要望がありました。公衆浴場利用者からは、「他の利用者との会話を楽しめる憩いの場で、生きがいになる」との声が寄せられています。
	今後の予測	浴場経営者の高齢化に伴う後継者不足、施設の経年劣化による老朽化、自家風呂保有率の上昇等、公衆浴場を取巻く課題はさらに大きく、今後も公衆浴場数は減少傾向にあると予想されます。
	評価と課題	経営者の高齢化、後継者不足、自家風呂率の上昇、施設の老朽化等、公衆浴場を取り巻く課題は厳しい状況にあります。平成22年度は廃業が1浴場でした。さらに客数増に資する支援を重点に、ロビーイベントや広報紙等による利用促進事業を効果的に実施していきます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ○ 実施方法の変更
		23年度から耐震化促進支援事業補助制度を創設し、耐震化に要する経費の一部を補助することにより、区内公衆浴場における耐震化を促進し公衆浴場利用者や近隣住民に対する安心・安全を確保していきます。22年度は、広報によるイベント周知の回数を拡大して実施するとともに、パブ情報の提供やロビーイベントなどに積極的に取り組みました。また、広報課の広報番組「すぎなみニュース」を活用し、高齢者の事業を紹介しつつ、あわせて銭湯の紹介を数ヶ月にわたりシリーズで紹介することを継続的に行なっています。今後も継続的にイベント等の広報への周知記事の掲載、区役所ロビーでのイベント等の充実、来客数の増を目的とする支援をさらに重点的に行なっていく必要があります。	

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		犯罪被害者支援		款	3	項	1	目	1	事業	5	整理番号	59			
担当部課名		区民生活部管理課		係名	犯罪被害者担当		連絡先電話番号	3756		昨年度整理番号	55					
上位施策No・施策名		41 安全で明るい地域社会づくり		予算事業区分				既定事業								
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	18	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		犯罪被害者及びその家族・遺族		根拠法令等		(1) 犯罪被害者基本法 (2) 杉並区犯罪被害者等支援条例								
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか)		○犯罪被害者及びその家族・遺族(以下、犯罪被害者等という。)が必要とする施策を総合的に推進し、受けた負担等の軽減を図り、一日も早く住み慣れた地域での平穏で安全な生活を取り戻していただく。		活動指標名(式)		(1) 相談を受けた件数 (2) 具体的な支援を行った件数								
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)		○相談に応じ、助言・情報提供・各種手続の手伝い・付添等を行う。 ○一時利用住宅の提供、家事・育児の日常生活支援ヘルパーの派遣、応急に資金が必要な場合の貸付等を行う。 ○犯罪被害者支援についての周知・啓発		成果指標名(1)		(代) 相談を受けた件数								
						算定式・指標の説明等										
						成果指標名(2)		(代) 具体的な支援を行った件数								
						算定式・指標の説明等										
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績							
指標	活動指標(1)	①	件	81	90	78	90	69	90	76.7						
	活動指標(2)	②	件	4	7	2	7	6	7	85.7						
	成果指標(1)	③	件	81	90	78	90	69	90	76.7						
	成果指標(2)	④	件	4	7	2	7	6	7	85.7						
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	4,367	4,363	2,154	1,745	1,220	1,711	22年度予算執行率%	69.9					
	(内) 投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内) 委託費	⑦	千円	1,762	2,020	234	455	349	456							
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.08 2.00	1.00 2.00	1.08 2.00	1.10 0.90	1.18 0.50	0.50 1.00	22年度の事業費は、20年度、21年度の実績を勘案し削減しました。犯罪被害者支援の家事援助事業委託について、実績に基づき積算した結果、22年度予算執行率が改善されました。						
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	9,774	8,879	9,589	9,812	10,526				4,460			
		(内) 非常勤職員分	⑩	千円	5,600	5,586	5,586	2,655	1,475				2,950			
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	19,741	18,828	17,329	14,212	13,221	9,121							
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	243,716	209,200	222,167	157,911	191,609	101,344							
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0				0			
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0				0			
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0							
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0							
差引: 一般財源⑪-⑰		⑱	千円	19,741	18,828	17,329	14,212	13,221	9,121							
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 59

22年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				ポスター・ちらし・プログラム等作成	
		犯罪被害者支援のつどい委託	1	回	294
		ボランティア・講師謝礼			262
		広報・啓発事業に伴うパネル・メッセージャー賃借	2	回	81
		その他 (旅費、物品購入ほか)			116
	(2)事業実績	・区役所ロビー他、区民センター3箇所で開催し、多くの区民に犯罪被害者及びその支援について周知し、理解をしていただくことができました。 ・セッション杉並で開催した「犯罪被害者支援のつどい」では犯罪により突然、大切な家族を失った被害者のご遺族に講演していただきました。			

協働等点検	(1)協働等は実現しているか 一部実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)	
	(3)協働等の形態 協働[その他]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成18・19年度のすぎなみ地域大学「犯罪被害者支援講座」で養成した「犯罪被害者支援員」と共に、様々な広報・啓発事業を実施してきました。国は、23年3月に「第2次犯罪被害者等基本計画」を閣議決定しました。また東京都では、平成23年度から27年度まで5か年の第2次「犯罪被害者等基本計画」を策定、犯罪被害者に対する支援が整備されてきました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	区民をはじめ、区外からも杉並区在住の家族や知人に関してのいろいろな相談に応じ、助言や情報提供、各種手続きの手伝いのほか、公判等への付添支援を行った犯罪被害者等からは、感謝の言葉や心強かったという言葉も届いており、区民の期待も大きいです。
	今後の予測	最も身近な自治体である区の役割は重要であり支援の充実を図ることが求められます。
	評価と課題	区役所のロビーで開催した「パネル展」は、1,340名、3箇所の区民センターで開催した「パネル展」では645名の来場者がありました。セッション杉並で開催した「犯罪被害者支援のつどい」には、273名の方が参加されました。 また、「犯罪被害者支援のつどい」、「パネル展」の開催にあたり、「犯罪被害者支援員」の自主的かつ積極的な協力を得ることができました。「犯罪被害者支援員」との協働のもと区民の理解を深めていくことが今後の課題であると考えます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ● 実施方法の変更
	平成22年度までは「犯罪被害者支援のつどい」をセッション杉並で開催してきましたが、区内各地域に支援に対する理解を深めてもらうため、平成23年度からは会場を変え、今まで地理的に参加しにくかった地域に場所を移し実施していきます。あわせてリーフレット、ポスターを作成し区民への啓発を行っていきます。 「犯罪被害者支援員」がより自主的に活動を展開していくため、22年度に設立された「犯罪被害者支援員の会」との協力と連携を進めていきます。 また、広報「すぎなみ」の紙面を積極的に活用し、より多くの区民に支援窓口があることをPRしていきます。		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 134

22年度の事業実施状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
			杉並区保護司会運営助成金	1	回
	社会を明るくする運動共催分担金	1	回	600	
	その他 (郵送料ほか)				141
	(2)事業実績	社会を明るくする運動強調月間において、区民の理解を深めるために、青少年に対する取組みとして、第1回青少年囲碁大会を開催し、区民のつどいでは、通称「夜回り先生」水谷修氏の基調講演や都立杉並高等学校吹奏楽部の演奏会など、集客力のあるプログラムを組み入れ、PRポスターは始めて町会掲示板に掲出を依頼するなど、広く区民への周知を図り、多くの参加を得ることができました。			

協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)	
	(3)協働等の形態 協働[補助・助成]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昨年度、犯罪者予防更生法と執行猶予者保護観察法が一本化され、新たな更生保護の基本法となる「更生保護法」が施行され、平成22年度は更生保護制度施行60周年を迎え、更なる推進を図りました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	“社会を明るくする運動”の認知度は未だに低いため、次代を担う青少年が運動の趣旨を理解できるように、個別事業の内容や構成を工夫してほしいです。
	今後の予測	犯罪の低年齢化や未成年者の再犯率の増加など、青少年の犯罪率が高まっている中、これからの更生保護事業は、今まで以上に青少年の健全育成に向けた取り組みを強化していく必要があります。
	評価と課題	“社会を明るくする運動”は、平成22年度に60周年を迎え、恒例の区立中学校が参加しての駅頭広報活動のほか、第1回青少年囲碁大会や区民のつどいにおける水谷修氏の基調講演など、青少年に関わる取組みを展開してきました。しかし、参加者には運動の趣旨や理念が十分に伝わっていない感があります。犯罪のない明るい地域社会となるには、地域・学校・家庭が連携し、青少年が非行や犯罪にはしることなく、健やかに育つ環境やしぐみが求められています。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ○ 実施方法の変更
		青少年が健やかに育つ環境が明るい地域社会を築くための近道です。近年の更生保護活動においても、未成年者を対象とするものが多くなっていることから、犯罪者予備軍といわれる世代の非行や犯罪防止活動を推進していく必要があります。そのためにも、今後は、社会を明るくする運動の強調月間において、中高校生を中心とする青少年が大勢参加できるプログラムを実施することにより、一人でも多くの青少年が運動の趣旨を理解し、自発的に運動を広めていく気運が高まるように取り組んでいきます。	

特記事項	
------	--